

TOWN



肩を組んで校歌斉唱



エンディングはばんば踊り



歓談する1年生



漫才を披露した木田さん(右)と中尾さん



第38回 星遊会に550人

9/16

延岡西高同窓会

県立延岡西高校の同窓会「第38回星遊会」は14日、延岡市紺屋町のエンシティホテル延岡で開かれ、卒業生や恩師ら約550人が訪れてにぎわった。今年は36回生が幹事を担当、メインテーマを令和だ！一貫集合とした。

オープニングでは幹事の奮闘を映像で振り返った後、物故者に黙とうをささげた。首藤浩治実行委員長は来場者に感謝を述べ、「思い出話や将来の夢の話をしていただき、皆さんが高校生に戻れるような星遊会にしてもえれば」とあいさつ。野中玄雄同窓会長は、2007年に延岡東高校と統合されて開校した母校の跡地をめぐっている県立延岡くやま支援学校の生徒が、体育館の床板の張り替えて出た廃材を使って、携帯スマートフォン「青春のわんぴす」を作ったことを紹介し、生徒たちからのメッセージを朗読。「学校を引き継いだ身近な場所にいる後輩たちが活躍してくれることを願っています」と述べた。

延岡西、延岡東の両校を引き継いだ延岡東雲高校の藤本格校長と、しやま支援学校の橋本昭校長が来賓あいさつ。橋本校長は「スライムの作成工程をVTRで紹介し、延岡西高としても支援校の絆がますます強まるとを願っています」と話した。

招待を受けた恩師や人が紹介された後、前回実行委員長を務めた染矢眞裕さんの発指、乾杯。和やかに料理定評な、懐かしい話や近況報告で盛り上がった。

アフトラクションは、会場からしやま支援学校に贈る母校のシンボル・カントの風毛ニユメントまでを走って往復する時間を当てるクイズ、豪華賞品が当たる抽選会、盛り上がった。

また、8月25日に延岡総合文化センターで、同高卒業以来27年ぶりのレインを行なった27回生のSayyuu(本田誠人さん)と田中(真一さん)のManito